

■ 安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

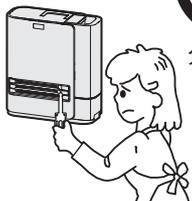
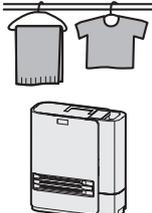
誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

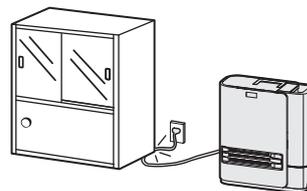
ご使用前

 警告(WARNING)	
<p>分解修理・改造の禁止</p> <p>故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。感電や火災の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。22ページ</p>   <p>分解禁止</p>	<p>本体内に指や異物を入れない</p> <p>吹出口や吸気グリルに指や可燃物、針金などの異物を入れないでください。けがややけどを負ったり、火災や感電の原因になります。</p>   <p>禁止</p>
<p>スプレー缶などを本体の近くに置かない</p> <p>スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発や火災の原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p>交流100V・定格15A以上(1,500W)のコンセントを単独で使用する</p> <p>本機器の消費電力は1,200W(温風「強」運転時)ですので、他の機器と併用したり、延長コードを使用しないでください。定格を超えると発熱による火災の原因になります。</p>   <p>必ず行う</p>
<p>異常・故障時は運転を停止して電源プラグを抜く</p> <p>水漏れ、焦げくさい臭い、電源コードを動かすと通電したりしなかったりするなど異常や故障と思われるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。火災・感電・けがの原因になります。22ページ</p>   <p>プラグを抜く</p>	<p>幼児の手の届くところでは使用しない</p> <p>子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しないでください。また、自分で温度調整のできない方が使用するときは、周囲の人が特に注意してください。やけど・けが・感電の原因になります。</p>  <p>禁止</p>
<p>温風に直接あたらない</p> <p>温風に直接長時間あたらないでください。特にお子様や、病気の方などがご使用のときは十分に注意してください。低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>衣類の乾燥厳禁</p> <p>衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。</p>   <p>衣類乾燥厳禁</p>

⚠ 警告 (WARNING)

電源コードを傷めない

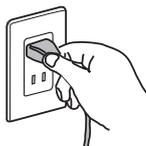
電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、吹出口周辺に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。火災や感電の原因になります。



禁止

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。感電や発熱による火災の原因になります。



必ず行う

お手入れするときは電源プラグを抜く

感電やけがの原因になります。



プラグを抜く

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しない

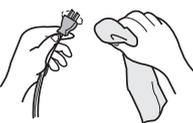
有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。



禁止

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

運転停止直後(約1分間)はヒータ周辺に触れない

やけど・けが・感電の原因になります。



接触禁止

⚠ 注意 (CAUTION)

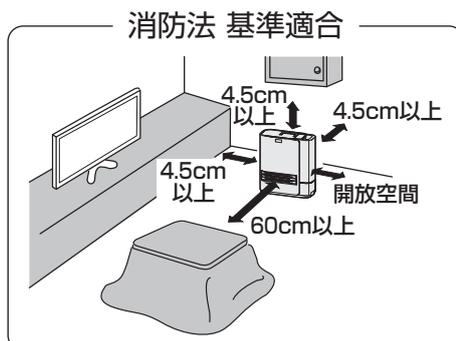
燃えやすい物の近くで使用しない

カーテン、布団、毛布など燃えやすい物(可燃物)の近くでは使用しないでください。火災の原因になります。

可燃物から下図の寸法を離して使用してください。ただし、左右面のどちらか一方は壁や障害物で囲まれていない開放空間にしてください。



禁止



■ 安全のために必ずお守りください

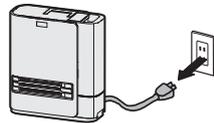
⚠ 注意(CAUTION)

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になります。



プラグを抜く

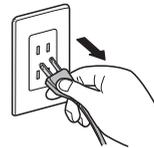


電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。火災や感電の原因になります。



必ず行う



不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない

タンクやトレイに水が入った状態で転倒したときは電源プラグを抜き、水平な場所に設置し、水をふいて十分に乾かしてから、電源プラグを差し直してください。火災や感電の原因になります。



禁止

高温部接触禁止

運転中や運転停止直後(約1分間)は吹出口に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。



接触禁止



ほこりや金属粉の多い場所で使用しない

火災や感電の原因になります。



禁止

吹出口や吸気グリルをふさがない

火災の原因になります。



禁止

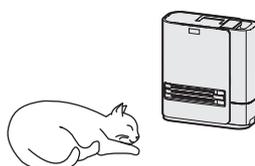


犬や猫などのペットの暖房用に使用しない

ペットが本体や電源コードを傷めると、火災の原因になります。



禁止

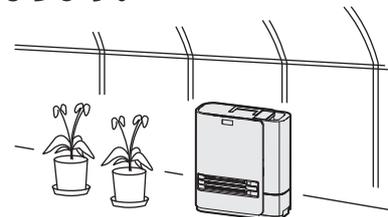


乾燥など他の用途に使わない

温室や飼育室など、人があたたまる目的以外で使用しないでください。火災の原因になります。



禁止



水に浸けたり、水などをかけたりしない

本体を水に浸けたり、水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。水に浸けたり、水などの液体をかけてしまったときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。22A-J



水ぬれ禁止

水道水(飲用)以外は使用しない

○40℃以上のお湯や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などを使用しないでください。雑菌やカビが繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。
○ガソリン、灯油、化学薬品(塩素系除菌消臭剤など)、芳香剤(アロマオイルなど)を使用しないでください。変形・割れ(水漏れ)・故障・火災の原因になります。



禁止

⚠ 注意(CAUTION)

浴室などの湿度が高い場所や水のかかる場所では使用しない

感電や火災の原因になります。



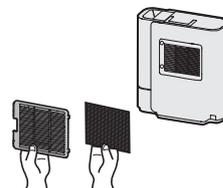
禁止

吸気グリル・抗菌フィルターを外したまま使用しない

性能が発揮されず、故障の原因になります。



禁止



タンクを入れたまま移動しない

移動するときは必ずタンクを取り出し、トレイの水を捨ててから、取っ手を持ち本体を傾けないように静かに運んでください。

水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。



禁止

タンクの水や本体内部は常に清潔にする

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れしてください。

お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。

体質によっては、過敏に反応し健康を損なう原因になります。



必ず行う

お願い(NOTICE)

磁気の多いところには置かない

電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところには置かないでください。正常に作動しないときがあります。

直射日光のあたるところや暖房機の上や近くには置かない

タンク内の空気が膨張し、水があふれたり、プラスチック部分が変形や変質するおそれがあります。

凍結のおそれがあるときは、タンク・トレイの水を捨てる

凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

水漏れ確認

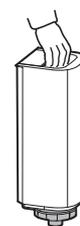
タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップを下にして水漏れがないことを確かめてください。また、タンクを落としたときは、タンクの破損による水漏れがないことを確かめてください。水漏れがあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 [22ページ](#)

長期間使用しないときは、タンク・トレイの水を捨てる

水を入れたまま放置すると、雑菌やカビが繁殖し悪臭の原因になります。

タンク・トレイの水を飲まない、飲ませない

体調不良の原因になります。



漏れを確認

各部のなまえ

外観図

前面

タンク取っ手 7ページ

Ag+抗菌アタッチメントEX
(消耗部品) 15ページ 20ページ

タンクキャップ
7ページ 20ページ

操作・表示部 6ページ

省エネセンサー 13ページ

本体に添付されているシールに使用開始日をご記入のうえ、イラストのように貼って交換の目安にしてください。

Ag+抗菌アタッチメントEX
商品コード：H011502 (K：黒色)
商品コード：H011503 (W：白色)
(使用開始日 年 月 日)
Ag+抗菌アタッチメント交換の目安
1シーズン(6カ月使用の場合)

吹出口

風向ルーバー
手動で角度調節ができます。

背面

取っ手 7ページ

点 抗菌フィルター
(消耗部品) 16ページ 20ページ

点 吸気グリル
15ページ 16ページ

運転中高温になる部分(ご注意ください)

点 点検・手入れが必要な部分

※外観図に表記されている部品は最初から全て付属しています。

点 タンク 7ページ 15ページ 16ページ

点 抗菌気化フィルター
(消耗部品) 16ページ 20ページ

点 トレイ仕切板
16ページ 20ページ

フロート 16ページ

※発泡スチロールは外さないでください。

ヒータ 2ページ

カンタン取替えトレイカバー
(消耗部品) 20ページ

※トレイカバーは外さずにそのままお使いください。

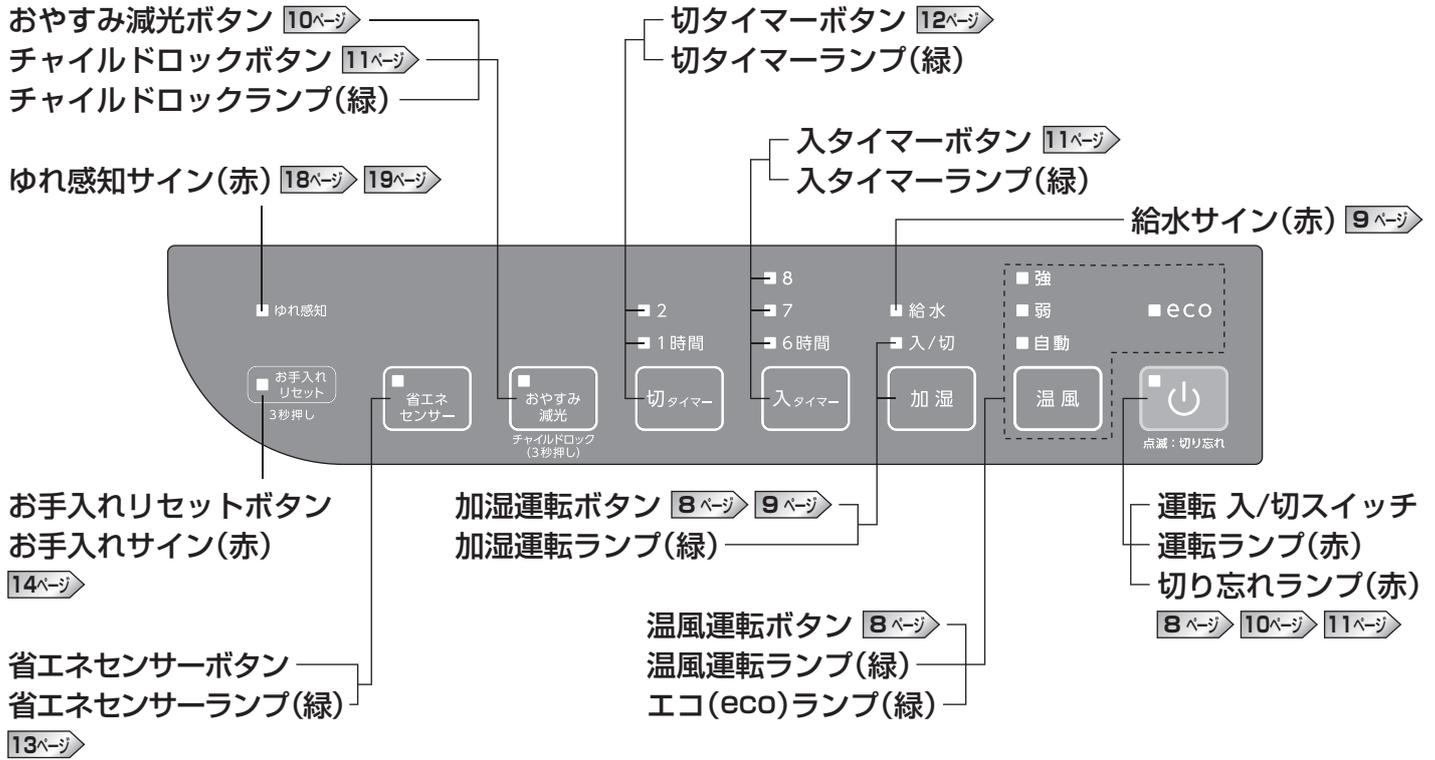
フラットトレイ 16ページ 20ページ
(以下、「トレイ」)

点 電源プラグ 7ページ

点 電源コード 7ページ

操作・表示部

※操作部はイメージです。



ご使用前

抗菌機能について

- ①Ag+抗菌アタッチメントEX：水中に溶出した抗菌※1成分が、タンク内の雑菌の繁殖を抑えます。
- ②抗菌気化フィルター：抗菌※2・防カビ※3加工を施し、トレイ内の雑菌・カビの繁殖を抑えます。
- ③抗菌フィルター：抗菌※4・防カビ※5加工を施し、部屋の空気から捕らえた雑菌・カビの繁殖を抑えます。
- ④抗菌操作プレート：抗菌※6加工を施し、操作プレート(操作部)表面の雑菌の繁殖を抑えます。

	※1	※2	※3
試験機関	一般財団法人 日本食品分析センター	一般財団法人 ポーケン品質評価機構	
試験方法	一般社団法人 日本電機工業会 自主基準(HD-133)に準拠 (試験対象：水中の2種類の菌)	JIS L1902に準拠	JIS Z2911に準拠
抗菌・防カビの方法	タンクの水に抗菌剤を浸漬	フィルターに抗菌剤を含浸	フィルターに防カビ剤を含浸
抗菌・防カビを行なっている対象部分の名称	Ag+抗菌アタッチメントEX	抗菌気化フィルター	
試験結果(試験番号)	6時間で99%以上の抑制を確認 (第18054444001-0101号) (第18081600001-0101号)	99%以上の抑制を確認 (20216048889-1)	抑制を確認 (20216048889-2)

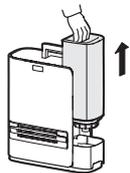
	※4	※5	※6
試験機関	一般財団法人 ポーケン品質評価機構		
試験方法	JIS L1902に準拠	JIS Z2911に準拠	JIS Z2801に準拠
抗菌・防カビの方法	フィルターに抗菌剤を含浸	フィルターに防カビ剤を含浸	メジュームに抗菌剤を配合
抗菌・防カビを行なっている対象部分の名称	抗菌フィルター		抗菌操作プレート
試験結果(試験番号)	99%以上の抑制を確認 (No.20222020901-1)	抑制を確認(20219001090-1)	99%以上の抑制を確認 (No.20215010681-1)

■ 使用前の準備

●● 運転開始前の準備と確認 ●●

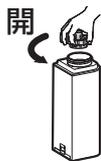
タンクに給水する

1 タンク取っ手を持ち、タンクを取り出す



2 タンクキャップを外す

- 外したタンクキャップにごみ、糸くず、ほこりなど付着しないように注意してください。



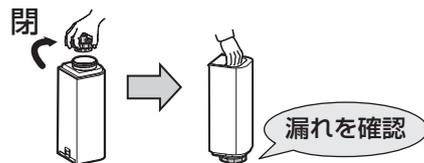
3 タンクを振り洗いし、水道水(飲用)を口元までゆっくり給水する

- 水道水(飲用)は、一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくいいため、必ず水道水(飲用)を使用してください。



4 タンクキャップを確実に閉める

- タンクについた水は完全にふき取ってください。
- タンクキャップを下にして水漏れがないことを確認してください。
- ※漏れているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 [22ページ](#)



5 タンクを本体にセットする

- トレイが確実に本体の奥まで入っていることを確認してください。



●● お守りください ●●

- 40℃以上のお湯や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水などを使用しないでください。
雑菌やカビが繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。
- ガソリン、灯油、化学薬品(塩素系除菌消臭剤など)、芳香剤(アロマオイルなど)を使用しないでください。
変形・割れ(水漏れ)・故障・火災の原因になります。

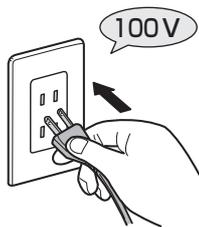
移動するとき

- 必ずタンクを取り出し、トレイの水を捨ててから、取っ手を持ち、傾けないように静かに運んでください。
水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。



電源コードを接続する

電源プラグをコンセント(100V)に確実に差し込む。



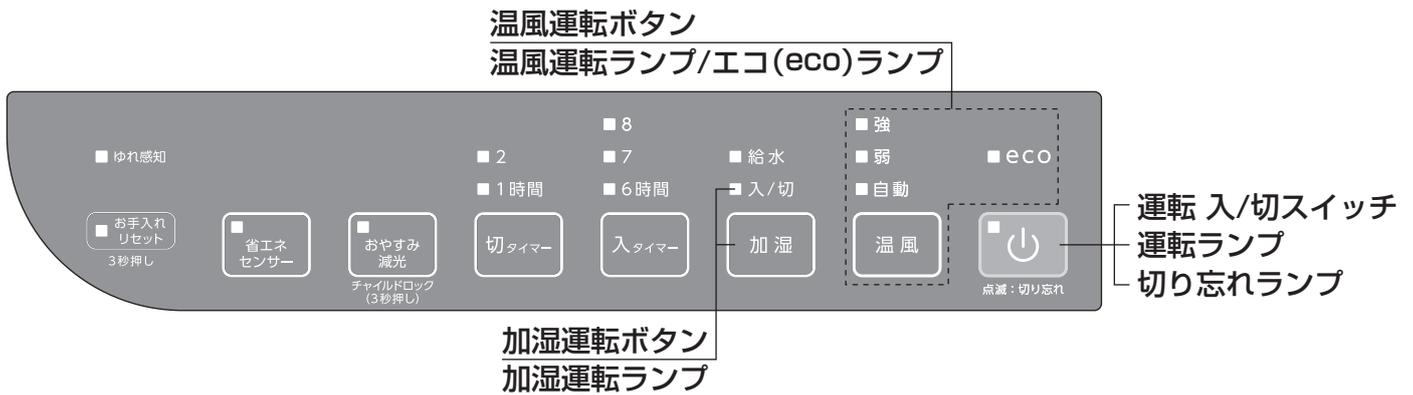
●● お守りください ●●

- 200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
- 交流100V・定格15A以上(1,500W)のコンセントを単独で使用し、他の機器と併用しないでください。
定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- 電源に発電機を使用するときは、家庭用電源(100V)と同レベルの電源供給ができる機器を使用してください(詳しくは、発電機メーカーに確認してください)。
機器が正常に作動せず、故障の原因となります。



禁止

■ 運転を開始するとき



1 運転 入/切スイッチを押す



- 強
- 弱
- eco
- 自動

○ 運転ランプ(赤)と温風運転ランプ(緑)が点灯し、運転を開始します。

2 お好みの運転モードを選ぶ

温風加湿運転(温風運転+加湿運転)、温風運転(単独)、加湿運転(単独)の3つから選ぶことができます。一度設定すると、運転を停止しても前の設定を記憶しています。

運転モード	温風加湿運転	温風運転(単独)	加湿運転(単独)
温風	お好みの運転モードに設定	お好みの運転モードに設定	「切」に設定 (温風運転ランプ(緑)消灯)
加湿	「入」に設定	「切」に設定	「入」に設定
加湿量の目安 (mL/h) 50/60 Hz	温風「自動」	90~480/90~480	90/90
	温風「弱」	220/220	
	温風「強」	480/480	

※加湿量は室温20℃・湿度30%の場合。室内の湿度や温度条件により加湿量は変わります。

温風加湿運転

1. 温風運転ボタンを押し、運転モードを設定する

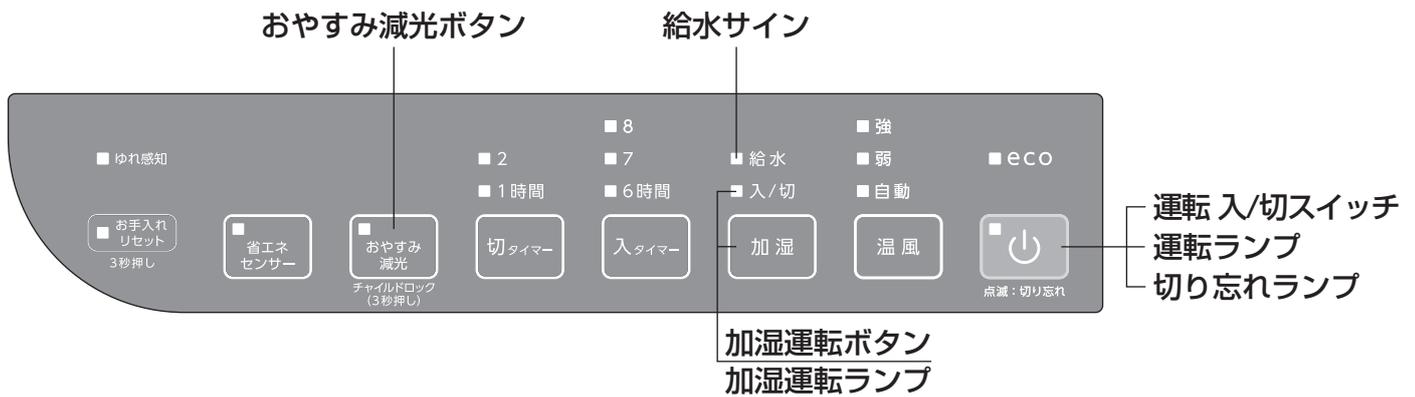


○ 温風運転ボタンを押すごとに運転モードが切り換わり、選んだ温風運転ランプ(緑)とエコ(eco)ランプ(緑)が点灯します。

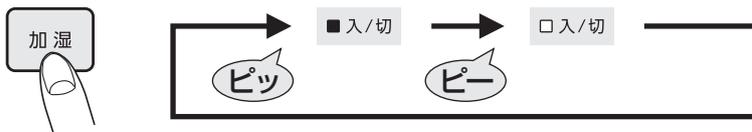


運転モード	運転のしかた
「自動」	室温が約22℃になるように「強」、「弱」を自動で切り換えて運転します。室温が上がり過ぎたときは、送風みの運転に自動で切り換わります。
「自動」+「エコ(eco)」	室温が約18℃になるように「強」、「弱」を自動で切り換えて運転します。室温が上がり過ぎたときは、送風みの運転に自動で切り換わります。
「強」	「強」の温風で連続運転します。
「弱」	「弱」の温風で連続運転します。
「切」 (温風運転ランプ(緑)消灯)	温風運転を停止します。 (温風運転(単独)で使用しているときは設定できません)

■ 運転を開始するとき(つづき)



2. 加湿運転ボタンを押す



- 加湿運転ランプ(緑)が点灯し、加湿運転を開始します。
- 加湿運転ボタンを押すごとに「入」、「切」が切り換わります。
- ※タンクに給水されていないときは、加湿運転を設定できません。

温風運転(単独)

温風運転ボタンを押し、運転モードを設定する(「温風加湿運転」の1.参照)

※タンクに給水しなくてもご使用いただけます。

加湿運転(単独)

加湿運転ボタンを押す(「温風加湿運転」の2.参照)

※「切」を選択すると、温風運転「自動」モードに切り換わります。

給水の合図

温風加湿運転、または加湿運転(単独)中にタンクの水がなくなると、給水サイン(赤)の点滅と10回のブザー音でお知らせし、加湿運転を停止します。



ピーピーピー...

- 温風加湿運転中にタンクの水がなくなると、温風運転(単独)に切り換わります。

解除のしかた

給水後、加湿運転ボタンを押す



- 給水サイン(赤)が消灯します。
- 再度、加湿運転を開始するときは、加湿運転ボタンを押してください。

メモ

- タンクを入れてから、トレイや抗菌気化フィルターに水が行きわたるまでに1~2分かかります。
- 初めてお使いになるときは、ヒータの発熱などにより、吹出口から臭いがすることがあります。1時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。

切り忘れ防止機能について

運転入/切スイッチを押してから8時間(省エネセンサー運転中は23時間)が経過すると自動で運転を停止し、切り忘れランプ(赤)が点滅してお知らせします。



解除のしかた

運転入/切スイッチを押す



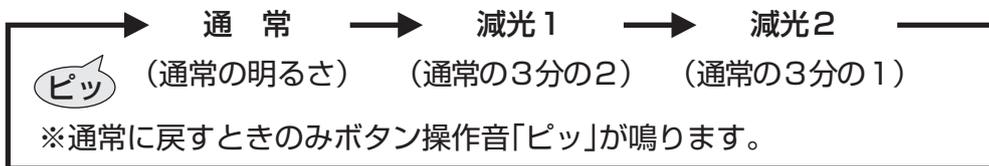
○運転ランプ(赤)が点灯し、再度運転が開始されます。

おやすみ減光モード

就寝時などに表示部の明るさが気になるとき、2段階に明るさを減光して切りかえることができます。

おやすみ減光ボタンを押す

おやすみ減光ボタンを押すごとに、点灯しているすべてのランプの明るさが切りかわります。



- 3秒以上押し続けたときは、チャイルドロックがセットされますので注意してください。▶11ページ
- おやすみ減光モード中は、ボタン操作音や給水サインのブザー音は鳴りません。ただし、運転入/切スイッチを押して運転を停止するときは、ボタン操作音が鳴ります。

メモ

- 次のときはおやすみ減光モードが解除されます。再度、設定してください。
 - ・運転を停止したとき
 - ・電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したとき
 - ・本体を傾けたり、転倒したことにより安全装置が作動したとき
 - ・切り忘れ防止機能が作動したとき

■ 運転を停止するとき

運転入/切スイッチを押す

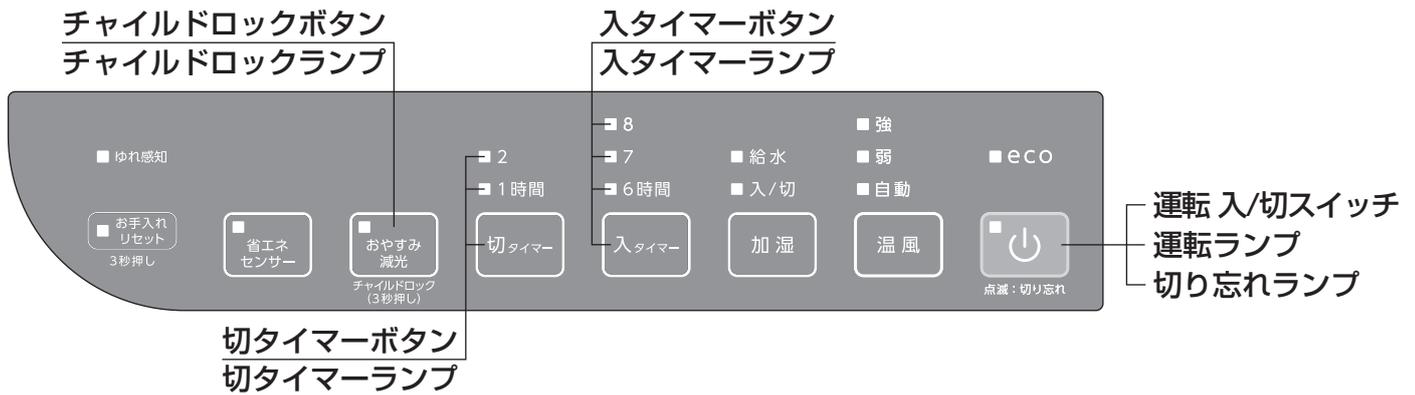


- 運転ランプ(赤)と設定中のすべてのランプが消灯します。
- 運転停止後、約1分間送風します。使用状況などにより送風しないときもあります。

● お守りください ●

- 運転の停止は、必ず運転入/切スイッチで行なってください。また、運転停止後約1分間は本体内を冷やすため送風ファンが回っているときがありますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源プラグを抜いて運転を停止したり、運転停止後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

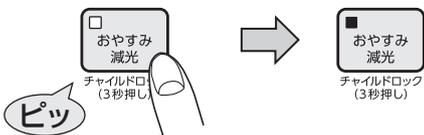
■ チャイルドロックを使用するとき



○ ○ チャイルドロックをセットする ○ ○

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

チャイルドロックボタンを「ピッ」と鳴るまで約3秒間押す



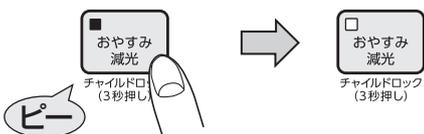
- チャイルドロックランプ(緑)が点灯します。
- 運転中のときは、運転停止以外の操作ができなくなります。運転停止中のときは、チャイルドロックの解除以外の操作ができなくなります。

メモ

- セットしたチャイルドロックは、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときでも記憶されています。再度、セットする必要はありません。

○ ○ チャイルドロックを解除する ○ ○

チャイルドロックボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押す



- チャイルドロックランプ(緑)が消灯します。

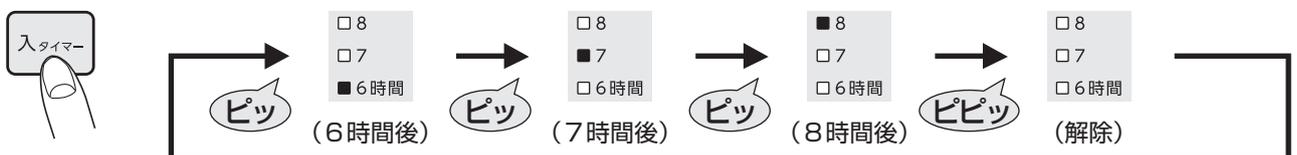
使用方法

■ タイマー運転を使用するとき

○ ○ 入タイマー運転をセットする ○ ○

一定時間後に運転を開始したいとき(6時間後、7時間後、8時間後の設定ができます)

- 1 運転入/切スイッチを押し、運転状態にする [8ページ](#)
(運転中にセットするときには、運転入/切スイッチを押す必要はありません)
- 2 お好みの運転モードに設定する [8ページ](#)
- 3 入タイマーボタンを押す



- 選んだ時間の入タイマーランプ(緑)が点灯し、運転を停止します。
- 運転停止後、約1分間送風します。使用状況などにより送風しないときもあります。

4 設定した時間になると、自動的に運転を開始します

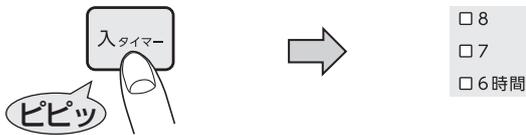
- 入タイマー運転開始後、2時間で自動的に運転を停止し、入タイマーランプ(緑)が点滅します。
- 運転停止後、約1分間送風します。使用状況などにより送風しないときもあります。
- 入タイマー運転中にいずれかのボタンを押すと、入タイマー運転が解除され、継続運転になります。(運転入/切スイッチを押したときは、運転を停止します)

メモ

- 入タイマー運転待機中にタイマー時間を変えたいときは、もう一度 **1** からセットしてください。
- 入タイマー運転待機中に電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したとき、本体を傾けたり転倒したことにより安全装置が作動したときは、もう一度 **1** からセットしてください。

入タイマー運転を解除する

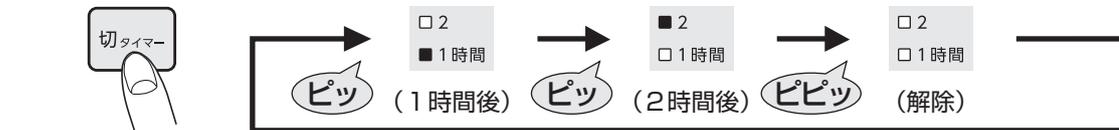
入タイマーボタンを入タイマーランプ(緑)が消灯(解除)するまで押す



切タイマー運転をセットする

一定時間後に運転を停止したいとき(1時間後、2時間後の設定ができます)

1 運転中に切タイマーボタンを押す



- 切タイマーボタンを押すごとに設定時間が切り換わり、選んだ時間の切タイマーランプ(緑)が点灯します。

2 設定した時間が経過すると、自動的に運転を停止します

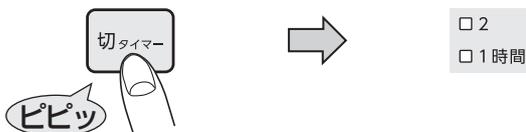
- 運転ランプ(赤)と設定中のすべてのランプが消灯します。
- 運転停止後、約1分間送風します。使用状況などにより送風しないときもあります。

メモ

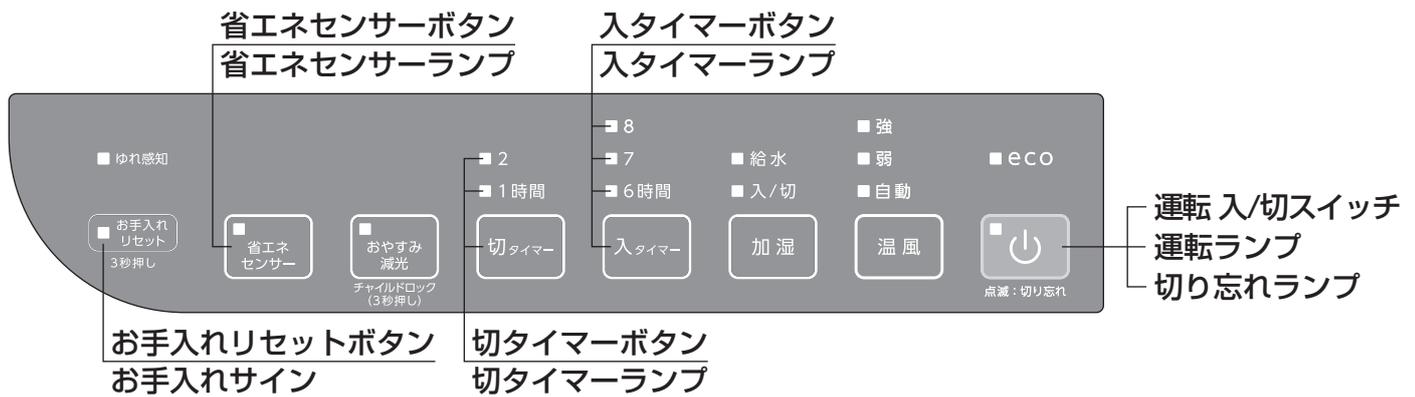
- 切タイマー運転中にタイマー時間を変えたいときは、もう一度 **1** からセットしてください。

切タイマー運転を解除する

切タイマーボタンを切タイマーランプ(緑)が消灯(解除)するまで押す



■ タイマー運転を使用するとき



○○ タイマー運転を組み合わせてセットする ○○

運転中に切タイマーで運転を停止させ、再び入タイマーで運転を開始したいとき

- 1 運転入/切スイッチを押し、運転状態にする <8ページ>
(運転中にセットするときには、運転入/切スイッチを押す必要はありません)
- 2 お好みの運転モードに設定する <8ページ>
- 3 切タイマー運転をセットする <12ページ>
- 4 入タイマー運転をセットする <11ページ>
- 5 それぞれ設定した時間になると、自動的に運転を停止させ、再び運転を開始します

2時間後に運転を停止させ、8時間後に運転を開始したいとき

	タイマー運転 セット	1時間後	2時間後	...	8時間後
切タイマー	<input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1時間	<input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1時間 (運転停止)		
入タイマー	<input checked="" type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 6時間	<input checked="" type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 6時間	<input checked="" type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 6時間	...	<input checked="" type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 6時間 (運転開始)

メモ

○切タイマー運転中や、入タイマー運転待機中にタイマー時間を変えたいときは、もう一度 1 からセットしてください。

※タイマー運転をセットしたときから、時間をカウントします。

■ 省エネセンサー運転を使用するとき

○○ 省エネセンサー運転をセットする ○○

センサーにて人の存在(動き)を検知し、人がいないと判断したときは運転を自動で停止し、無駄な電力の消費を抑えます。

運転中に省エネセンサーボタンを押す



○省エネセンサーランプ(緑)が3秒間点灯します。

人がいるとき



- 省エネセンサーランプ(緑)がゆっくり点滅します。

人がいない状態が続いたとき



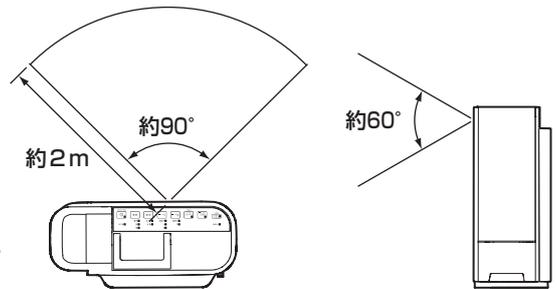
- 省エネセンサーランプ(緑)が点灯します。
- 人の存在(動き)を約5分間検知しないと運転を停止します。
- 人の存在(動き)を検知すると、運転を再開します。

省エネセンサーの検知について

検知範囲は右図に示す通りです。ただし、季節や室内温度などの条件により変わることがあります。

- 次のときには、センサーが人の存在(動き)として検知することがあります。
 - ・犬や猫などの小動物が動いているとき
 - ・温・冷風の流れているとき
 - ・白熱灯などの発熱する機器を使用しているとき
 - ・カーテンなどの風で揺れるものがあるとき
 - ・携帯電話を使用しているとき
- 次のときには、センサーが人の存在(動き)を検知しないことがあります。
 - ・じっとしているなど、人の動きがほとんどないとき

<検知範囲>



メモ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、省エネセンサー運転が解除されます。再度セットしてください。
- 省エネセンサー運転中に人がいるときでも、切り忘れ防止のため、省エネセンサー運転を開始してから23時間が経過すると自動で運転を停止し、切り忘れランプ(赤)が点滅します。

省エネセンサー運転を解除する

運転中に省エネセンサーボタンを押す



- 省エネセンサーランプ(緑)が消灯します。

■ お手入れサインが点滅したとき

お手入れ時期の目安をお手入れサイン(赤)が点滅してお知らせします。

加湿運転をご使用の有無にかかわらず、タンクに水を入れてから約2週間後にお手入れサイン(赤)が点滅します。運転を停止させ、お手入れをしてください。

1 抗菌気化フィルターのお手入れをする

お手入れのしかたは、16ページ「お手入れサインが点滅したとき」に従ってください。

2 お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、お手入れサイン(赤)を解除する

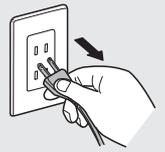


- お手入れサイン(赤)が消灯し、リセットされます。

■ 日常の点検・お手入れのしかた

● お守りください ●

- 点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。感電・発火・故障の原因になります。
- お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。定期的にお手入れを行なってください。



○ ○ ご使用のたびに ○ ○

本体の周辺に可燃物はないか確認する

タンク内をきれいにする

- タンク内の水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。タンク内の水を捨て、きれいな水を少し入れ、振り洗いしてください。
- タンクキャップを外したときに、Ag+抗菌アタッチメントEXをクエン酸で洗浄しないでください。ヌメリや臭いを抑える効果が得られなくなります。



トレイ内の水を捨てる

- トレイ内に水が残っていた場合、必ず捨ててください。

メモ

- お手入れサイン(赤)が点滅する前にタンクの水の減りが遅くなったときは、抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。16A-J

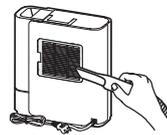
○ ○ 週に1回程度 ○ ○

本体のほこりや汚れをふき取る

- 柔らかい布でからぶきしてください。汚れが落ちにくいときは、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいたあと、洗剤が残らないように固く絞った布でふき取り、からぶきしてください。
- 変質や変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。

吸気グリルのお手入れをする

掃除機などで吸気グリルのほこりを吸い取ってください。



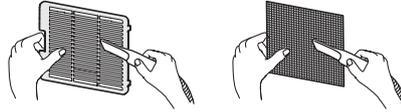
吸気グリルの汚れがひどいとき

吸気グリルの汚れがひどくなると、雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。

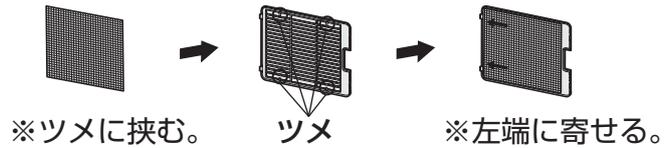
1. 本体から吸気グリルを外し、抗菌フィルターを外す。



2. 掃除機などで吸気グリル、抗菌フィルターのほこりを吸い取る。
※抗菌フィルターの汚れが落ちにくいときは、交換をおすすめします。20ページ➡



3. 吸気グリルに抗菌フィルターを取り付ける。
※吸気グリル裏側のツメ(4箇所)に挟み、左端に寄せて取り付けてください。



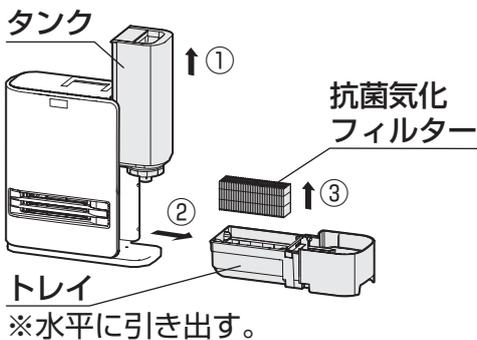
4. 吸気グリルを本体に取り付ける。
※抗菌フィルターが、吸気グリルからはみ出していないことを確認してください。

お手入れサインが点滅したとき

抗菌気化フィルター・トレイ仕切板のお手入れをする

抗菌気化フィルターやトレイ仕切板に水アカ(白や茶色)が付着します。水アカは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので、必ずお手入れしてください。

1 各部品を外し、抗菌気化フィルターをお手入れする



お手入れのたびに(2週間に1回程度)

- 抗菌気化フィルターをクエン酸で洗浄する。
- 吹き出す風が臭ったときは、さらに重曹で洗浄する。
- お手入れ後に続けて使うときは、ぬれたままでもご使用いただけます。

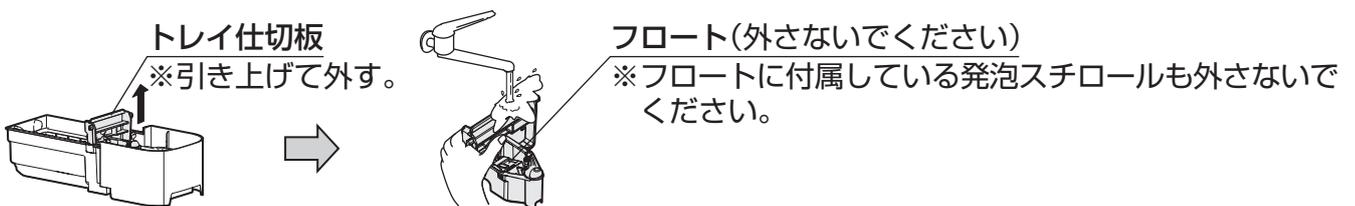


3シーズンに1回は

- 新しいもの(別売部品)と交換する。20ページ➡

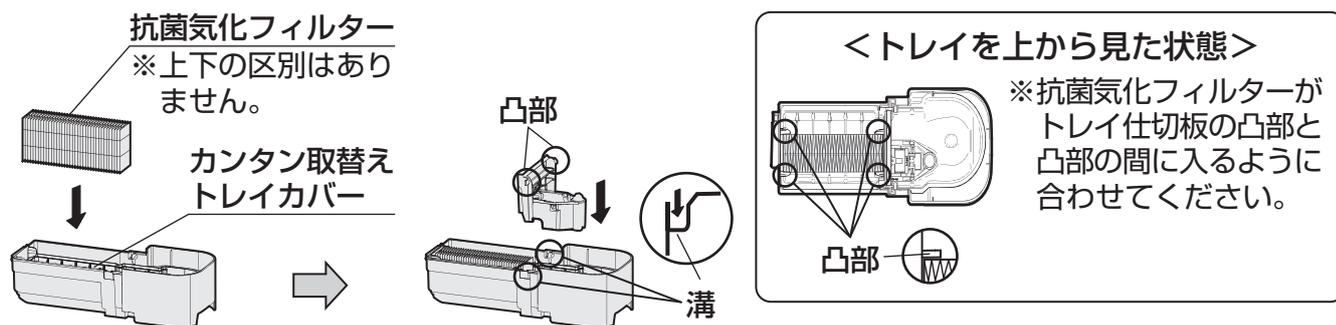
※抗菌気化フィルターに強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。
※洗浄のしかたは、17ページ「抗菌気化フィルターの洗浄のしかた」に従ってください。

2 トレイからトレイ仕切板を外し、水洗いする



■ 日常の点検・お手入れのしかた(つづき)

3 トレイの水を捨て、抗菌気化フィルター、トレイ仕切板の順にトレイにセットする



※トレイ仕切板をセットするときは、トレイ仕切板の凸部をトレイの溝に入れてください。

※カンタン取替えトレイカバーは、1シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください。20ページ

4 トレイとタンクを本体にセットする

※トレイは奥まで確実にに入れてください。

5 お手入れサイン(赤)を解除する 14ページ

※お手入れサイン(赤)が点滅する前にお手入れを行なったときも、お手入れリセットボタンを「ピー」と鳴るまで約3秒間押し、リセットしてください。

抗菌気化フィルターの洗浄のしかた

1. めるま湯に用途に合わせて洗浄剤を溶かし、抗菌気化フィルターを浸ける。

(クエン酸と重曹を一緒に入れないでください)

塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しないでください。有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。40℃以上のお湯は使用しないでください。部品破損の原因になります。



用途	洗浄剤	使用量	浸け置き時間
定期的に水アカを取るとき	クエン酸	1.5Lあたり約10g (大さじ1杯)※1	約30分～2時間※2
吹き出す風が臭ったとき	重曹	1.5Lあたり約50g	約60分

※1 濃度が高いと部品破損の原因になります。

※2 水アカが取れにくいときは、浸け置き時間を長く(最長2時間)してください。

2. 水道水で2分以上を目安に、しっかりすすぎ洗いのする。



※すすぎが不十分だと洗浄剤の成分が残り、臭いの発生や故障の原因になります。

※抗菌気化フィルターを外したまま機器を使用しないでください。

※詳しくは弊社ホームページでご覧いただけます。22ページ

メモ

- 使い始めてすぐに抗菌気化フィルターが茶色に変色(場合によっては数時間で変色)することがありますが、異常ではありません。
- クエン酸・重曹は薬局、薬店、ホームセンター、インターネットなどでお買い求めください。21ページ

■ 定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店などに点検依頼(有料)をおすすめします。

愛情点検		長年ご使用の加湿セラミックファンヒーターの点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水漏れする。 ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ・電源プラグや電源コードが異常に熱い。 ・本体が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。 ・運転中に異常な音や振動がする。 ・その他の異常や故障がある。 	▶	<p>ご使用中止</p> <p>事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。</p>

■ 保管と廃棄のしかた

保管するとき(長期間使用しないとき)

- 1 「お手入れのしかた」に従ってお手入れする。◀15ページ
- 2 お手入れ後、お手入れリセットボタンを押し、リセットする。◀14ページ
- 3 お買い上げ時の包装箱、またはポリ袋などに入れ保管する。
 - お手入れした部品を十分に乾かしてください。
 - 本体を傾けたり、横倒しの状態にしないでください。
 - 湿気の少ないところに保管してください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

消耗部品の材質

- 抗菌気化フィルター……………レーヨン・プラスチック(ポリエステル)
- Ag+抗菌アタッチメントEX……………プラスチック(PP・ナイロン)
- 抗菌フィルター……………プラスチック(PP)
- カンタン取替えトレイカバー……………プラスチック(PP)

■ 故障かな?と思ったら

○ ○ 修理を依頼する前に ○ ○

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症 状	原 因	処 置 方 法
電源プラグや電源コードが熱くなる	消費電力が大きいため、運転中は電源プラグや電源コードがあたたくくなります。	異常ではありません。ただし、手で触れられない熱さになっている場合はコンセントのゆるみが考えられますので、別のコンセントで確認し、それでも熱い場合はお買い上げの販売店にご相談ください。◀22ページ▶
給水サイン(赤)が点滅している	タンクの水がなくなった。	タンクに給水する。◀7ページ▶◀9ページ▶
タンクに水が入っているのに給水サイン(赤)が点滅する	本体が傾いている。	水平な場所に設置する。
	フロートが引っ掛かっている。 加湿運転ボタンを押し直していない。	フロート周辺のごみを取り除く。◀16ページ▶ 加湿運転ボタンを押し直す。◀9ページ▶
ゆれ感知サイン(赤)とエコ(eco)ランプ(緑)と加湿運転ランプ(緑)が点滅している	トレイが本体に確実に入っていない。	トレイを本体の奥まで確実に入れる。◀17ページ▶
運転しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。◀11ページ▶
	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差し込む。◀7ページ▶

■ 故障かな？と思ったら(つづき)

症状	原因	処置方法
温風運転中なのに温風が出ない	温風運転「自動」、もしくは「自動」+「エコ(eco)」モードに設定している場合、室内温度が上がり過ぎると送風のみ運転になります。	異常ではありません。 ◀8ページ▶ ▶9ページ▶
加湿運転しているのに、タンクの水が減らない、または風の出が少ない	吸気グリルにほこりが付着している。 抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	吸気グリルのお手入れをする。 ▶15ページ▶ ▶16ページ▶ 抗菌気化フィルターのお手入れをする。 ▶16ページ▶
加湿運転ができない		
タイマー運転(加湿運転)ができない	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水する。 ▶7ページ▶ ▶9ページ▶
切り忘れランプ(赤)のみ点滅している	運転を開始してから8時間(省エネセンサー運転中は23時間)が経過したため、自動停止した。	異常ではありません。 ▶10ページ▶ ▶14ページ▶
音がする	「ポコポコ」という音は、タンクからトレイに水が供給される時、タンクの中に空気が入る音です。 「ブーン」、「ジー」という音は、送風ファンが動いている音です。	異常ではありません。 異常ではありません。いつもより音が大きいときは、吸気グリル・抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。 ▶15ページ▶ ▶16ページ▶
臭いが出る	抗菌気化フィルター・吸気グリル・トレイ仕切板・カンタン取替えトレイカバーが汚れている。	○抗菌気化フィルター・吸気グリル・トレイ仕切板のお手入れをする。 ▶15ページ▶ ▶16ページ▶ ○カンタン取替えトレイカバーの交換をする。▶20ページ▶
電源プラグをコンセントに差し込んだとき、送風ファンが回る	前回ご使用のときに、電源プラグを抜いて運転を停止したり、運転停止後すぐに電源プラグをコンセントから抜いた。	異常ではありません。運転停止後は送風ファンが止まってから電源プラグを抜いてください。故障の原因になります。 ▶10ページ▶
抗菌気化フィルターが茶色に変色している	水アカが付着している。	異常ではありません。汚れがひどいときは、お手入れをしてください。 ▶16ページ▶
本体を移動するときなどに「カタカタ」と音がする	対震自動停止装置内の部品が動いている音です。	異常ではありません。

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行なってください。

表示部(エラー表示)	原因(安全装置)	処置方法
全消灯		
ゆれ感知サイン(赤)とエコ(eco)ランプ(緑)と温風運転ランプ(緑)が点滅している	○電源プラグが抜けたため、自動停止した。 ○一時停電したため、自動停止した。 (停電安全装置が作動)	電源プラグをコンセントに確実に差し込み運転入/切スイッチを押し直す。 ▶7ページ▶
ゆれ感知サイン(赤)が点滅している	○本体を傾けたり、転倒したため自動停止した。 ○地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けたため、自動停止した。 (対震自動停止装置が作動)	電源プラグを抜き、水平な場所に設置し、水をふいて十分に乾かしてから、電源プラグを差し直し、運転入/切スイッチを押し直す。
ゆれ感知サイン(赤)とエコ(eco)ランプ(緑)と入タイマーランプ(緑)が点滅している	吸気グリル、または吹出口が物でふさがれたり、ほこりがたまっただため、自動停止した。 (過熱防止装置が作動) 室内温度が異常に高温(40℃以上)になったため、自動停止した。 (室温異常自動停止装置が作動)	吸気グリル、または吹出口の障害物を取り除き、掃除したあと、運転入/切スイッチを押し直す。 設置方法を確認、運転入/切スイッチを押し直す。 ▶2ページ▶
ゆれ感知サイン(赤)とエコ(eco)ランプ(緑)と上記以外のランプが点滅している	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 ▶22ページ▶

処置を行っても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。[22ページ](#)
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

■ 消耗部品の交換について

交換の目安

◆抗菌気化フィルター

- 3シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1シーズン6カ月、1日6時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)、月に2回クエン酸洗浄した場合)。また、3シーズン以内でも汚れや水アカが落ちにくくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換してください。[21ページ](#)
交換せずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。なお、水道水の硬度の違いにより寿命が短くなる場合があります。また、クエン酸で洗浄せずに使用を続けると寿命が短くなり、1シーズンに満たなくても交換が必要になる場合があります。

◆Ag+抗菌アタッチメントEX

- 1シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1日平均7Lの水道水を6カ月使用した場合(総使用量1,260L)が交換の目安)。[21ページ](#)
なお、水質、使用環境によっては交換時期が早くなる場合があります。Ag+抗菌アタッチメントEXは、取り付けずにご使用いただくこともできますが、ヌメリや臭いの原因を抑える効果が得られなくなります。

ゆるむ しまる



Ag+抗菌アタッチメントEX



タンクキャップ

※交換部品ではありません。
捨てないでください。

◆抗菌フィルター

- 汚れが落ちにくくなったら交換をおすすめします。[21ページ](#)
交換せずに使用を続けると、雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。[16ページ](#)

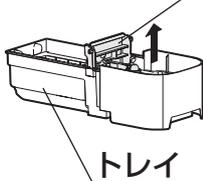
◆カンタン取替えトレイカバー

- 1シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1日6時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)が交換の目安)。[21ページ](#)
なお、1シーズンに満たなくても汚れや水アカが気になるときは、交換をおすすめします。カンタン取替えトレイカバーは、取り付けずにご使用いただくこともできますが、その際は、抗菌気化フィルターと一緒にトレイもお手入れしてください。

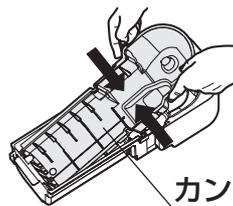
1. トレイからトレイ仕切板を引き上げて外す。

2. トレイの水を捨て、カンタン取替えトレイカバーを外す。
※トレイが汚れていたときは、スポンジなどで水洗いしてください。
水洗い後、トレイについた水は、ふき取ってください。

トレイ仕切板



トレイ



カンタン取替えトレイカバー

※カンタン取替えトレイカバーとトレイの間に指を入れて押し上げて外してください。

3. 新しいカンタン取替えトレイカバーをトレイにセットする。

■ 部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。また、弊社ホームページでもご注文ができます。◀表紙

別売部品

この部品は本加湿セラミックファンヒーター用です。他の機器では使用しないでください。
また、価格や仕様は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

<消耗部品>

※純正品をご使用ください。

加湿セラミックファンヒーター本来の性能を発揮できない場合があります。



【クエン酸】
330円
(本体価格 300円)
商品コード：H010010



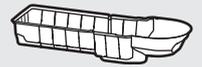
【抗菌気化フィルター】
1,870円
(本体価格 1,700円)
商品コード：E060501



【Ag+抗菌アタッチメントEX】
1,760円
(本体価格 1,600円)
商品コード：H011502



【抗菌フィルター】
825円
(本体価格 750円)
商品コード：E060350



【カンタン取替えトレイカバー】
※3枚入り
1,650円
(本体価格 1,500円)
商品コード：E011500

■ 仕 様

型 名	EF-H1200TE5				
電源電圧及び周波数	AC100 V 50/60 Hz				
消 費 電 力	温風加湿運転		温風運転		加湿運転
	温風「強」+加湿	温風「弱」+加湿	温風「強」	温風「弱」	加湿単独
	1000/1000 W	550/550 W	1200/1200 W	670/670 W	12/12 W
加 湿 量※1	480 mL/h	220 mL/h	—	—	90 mL/h
運 転 音	27 dB	23 dB	30 dB	27 dB	27 dB
連続加湿時間※2	約8時間	— ※3	—	—	— ※3
タンク容量	4.0 L				
外形寸法(高さ×幅×奥行)	410 mm×375 mm×175 mm				
質 量	約 4.7 kg				
電源コードの長さ	1.8 m				
安 全 装 置	停電安全装置、対震自動停止装置、過熱防止装置、室温異常自動停止装置				

◆暖房の目安

断熱材の厚み	コンクリート住宅	木造住宅
なし	6.9 m ² (約 4.5 畳)まで	4.9 m ² (約 3 畳)まで
50 mm	12.9 m ² (約 8 畳)まで	8.6 m ² (約 6 畳)まで

<1 m²当たり必要W数の計算基準>

住宅の構造	コンクリート住宅		木造住宅	
断熱材	なし	50 mm	なし	50 mm
1 m ² 当たりW	174 W	93 W	244 W	140 W

- 暖房の目安は自社調べによるものです。
- 室内外温度差15℃の地区で、1畳=1.65m²として算出しています。

◆加湿の目安※1

運 転	プレハブ洋室	木造和室
温風「強」+加湿	22 m ² (13.5 畳)まで	13 m ² (8 畳)まで

※1 加湿量は室温20℃・湿度30%の場合。室内の湿度や温度条件により加湿量は変わります。

※2 連続加湿時間は、加湿量最大で運転し続けた場合。

※3 切り忘れ防止機能により、8時間(省エネセンサー運転中は23時間)で運転を停止する場合があります。

■ 保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証について

◆保証書(裏表紙に付いています) 裏表紙

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要になりますので、一緒に保管してください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体3年間です。なお、消耗部品(抗菌気化フィルター・Ag+抗菌アタッチメントEX・抗菌フィルター・カンタン取替えトレイカバー)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本加湿セラミックファンヒーターの補修用性能部品は、製造打切り後9年保有しています。

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」に従ってお調べください。 18ページ 19ページ 20ページ

- 処置を行なっても直らないときは、ご使用中を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。その際は、右の事項をご連絡ください。

品名：ダイニチ加湿セラミックファンヒーター
型名：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆修理料金

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

● お守りください ●

- 修理などで加湿セラミックファンヒーターを運搬するときは、必ずタンク・トレイの水を捨ててください。運搬の途中で水がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

ご相談窓口(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談など)

お客様ご相談窓口(通話料無料)

携帯電話、スマートフォンからもお問い合わせいただけます。

TEL 0120-468-110

FAX 0120-468-220

<受付時間>

9:00~12:00/13:00~17:00

(土曜・日曜・祝日は除く)

※型名(本体背面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

インターネットからのお問い合わせ

■パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス
<https://www.dainichi-net.co.jp/support/>

ダイニチ工業 お客様サポート



※通話料などはお客様のご負担となります。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ①修理やその確認業務を委託する場合
 - ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関しては、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。



加湿セラミックファンヒーター保証書

型名	EF-H1200TE5	製造番号	
お客様	お名前 様		
	ご住所 〒		
	電話番号 見本		
	お買い上げ日	販売店名・住所・電話番号	
	年 月 日		
	保証期間(お買い上げ日から)		
	本体3年間		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

（お客様へお願い）

お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。

販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

（ご販売店様へ）

お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し（記入のないときは無効となります）、本書をお客様へお渡しください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なったときは、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社にご相談ください。
- 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、およびタンク・タンクキャップの損傷。使用状況などによる本体やタンクの変形・変色
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)などによる故障や損傷
 - (ニ) 異常電圧、指定外の電源(電圧・周波数)、ほこりなどによる故障や損傷
 - (ホ) 消耗部品(抗菌気化フィルター・Ag⁺抗菌アタッチメントEX・抗菌フィルター・カンタン取替えトレイカバー)の取り替え
 - (ヘ) 定期点検の費用
 - (ト) 一般家庭用以外(たとえば、業務用の長時間使用や車両・船舶への搭載)に使用されたときの故障や損傷
 - (チ) 本書の提示がないとき
 - (リ) 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書(22ページ)をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟市南区北田中780-6

お客様ご相談窓口TEL 0120-468-110

ホームページ <https://www.dainichi-net.co.jp/>



* E 0 9 0 7 0 2 *

